

## 研究室訪問交流講座② 開催しました！



- 日時 令和元年8月26日（月）13：00～16：00
- 会場 香川大学創造工学部 林町キャンパス
- 講師 香川大学創造工学部 教授 石塚 正秀 氏

8月26日（月）、香川大学創造工学部にて、研究室訪問交流講座②を開催しました。

本講座は「里海」にかかわる研究を通し、実際に大学の研究室でどのような研究が行われ、どのように社会に役立てられているのかを知り、現役大学生と現役高校生の交流の場を設けることにより、大学での研究を身近に感じ、里海づくりに関心を持ってもらう目的で行われました。



今回の講座では、「マイクロプラスチック分析を通して河川環境・海域環境とゴミについて考える」「森川海のつながりについて考える」の2つのテーマで、マイクロプラスチック汚染対策について学びました。

初めに、「マイクロプラスチックとは何か?」、「河川と海の水環境」、「海ごみ問題」などについて詳しく解説いただきました。

御坊川で採取した試料を、シャーレに移し、そこからマイクロプラスチックであろう物質を拾い出すハンドピック作業を行いました。マイクロプラスチックは非常に小さく、学生達は拾い出しに苦労していました。

その後実験室へ移動し、拾い出した物質が本当にマイクロプラスチックかどうか赤外線を物質にあて、赤外線吸収スペクトルから、物質を特定する実験を行いました。



※マイクロプラスチックであろう物質を拾い出す様子



※拾い出した物質を解析する様子

既知のプラスチックの赤外線吸収スペクトルと、試料のスペクトルを比較した結果、約半数の学生の採取した物質がマイクロプラスチックであるという結果となりました。



※意見交換の内容を発表する参加者の高校生たち

実験室での実習の後は、現役大学生との交流を深めました。普段聞くことのできない大学生活に関する疑問を積極的に学生に質問していました。

交流の後、「プラスチックごみを減らすために必要なこと」をテーマに意見交換、発表が行われました。国が取り組む事、企業が取り組む事、個人が取り組む事についてアイデアを出し、発表しました。

受講者からは、「現役大学生とディスカッションができてワクワクした。」、「マイクロプラスチックを自分で発見できてうれしかった。」等の感想がありました。